

# 町民と語る会を開催

11月2日から11日に、町内各地区において町民と語る会を開催しました。夜の開催にもかかわらず総勢64名の参加があり、町長から行政報告を行い、ふるさと創生総合戦略の取り組みや、有害鳥獣対策などについて皆さんと意見交換を行いました。その概要をお知らせします。

## 町長からの行政報告

### 若者定住の住宅確保

地域担い手づくり支援住宅を2棟建設したほか、二世帯住宅新築など住宅改修事業の支援も実施しております。その結果、保育所は移住された方のお子さんを中心に入所児童が増加いたしました。

### 生活環境整備

町、みやぎ生協、ファミリーマートが連携し、24時間営業のミニスーパーの建設が決定いたしました。移動販売車も検討しており、町民の方々が気軽に利用できるよう、町営バスの運行経路も追加します。

## 意見交換

新卒者の雇用が毎年実現できるよう、タイミング良く求人情報を発信してもらいたい。

雇用場の創出を積極的に進め、意欲のある人を求めていきます。若者は、インターネット等で情報収集をするため、町のホームページを通して求人情報を発信していきます。また、町だけでなく民間事業者の求人情報についても、町を通して発信できるように考えていきます。

パークゴルフ場のコースの増設と、レンタル用具を増やしてほしい。

コースの増設を予定しており、愛好家と一緒に拡大を検討していく予定です。また、パークゴルフのレンタル用具については、地域づくり委員会の事業で整備した地区もありますので、そのような方法も参考にしてみてください。

七ヶ宿くらし研究所をもっとPRし、くらし研究所を含め、町を広報すべきだと思ふ。

また、ミニスーパーでは10名程度の雇用も発生いたします。

### 子育てと婚活支援の取組

今年度から保育料、学校給食費を無料にし、県内一の子育て環境を目指しております。

婚活支援については、結婚相手紹介サービスクラスと契約し、会費及び入会金を町が全額助成いたします。

### 産業関係

パイプハウスリース事業を継続し、野菜、山菜の直売所への出荷が拡大しております。

### 林業関係

林業懇談会を開催し、振興策を検討し

くらし研究所の告知は広報誌など活用しておるところですが、認知はまだ浅いのが現状です。町自体を売り込むタウンセールスやマスコミの力を借り、積極的にPR活動を進めていきます。

ミニスーパーの開店が決定したが、既存商店への対応は大丈夫なのか。

既存商店の皆さまの意見に幅広く耳を傾け、前向きな取り組みには応援していきます。

空き家の解体にかかる経費が多額なので、支援策や荒廃空家の所有者に対して解体に係る指導をしてもらいたい。

解体費用の助成制度を作り、住所要件に関わらず50万円を補助する仕組みを作りましたが、現在まで1件の申請に留まっております。空き家については、所有者に対し連絡を取るなどの対応をしていきます。

地域おこし協力隊の業務・活動を、任期後の定住につながる内容にしていくべきだと思ふ。

従事業務を専門化するなど、募集内容を変えておるところです。現在は炭焼き

ております。町産材を来年度の地域担い手づくり支援住宅建設に利用する予定です。

また、木質バイオマスの研究を進め、将来的に賑わい拠点の入浴施設での利用を考えております。

### 観光関係

ダム公園内にパークゴルフ場を設置し、町内外からの多くの利用があり、道の駅の売上げの増加につながっております。

また、南蔵王エリア活性化計画の設計に着手し、青少年旅行村及び長老湖の賑わいを復活していく予定です。

### 教育関係

各地区公民館や、テニスコートの改修を行い、旧湯原小学校を交流施設とするための設計業務に着手いたしました。

### 太陽光発電事業

柏木山放牧場でのメガソーラー事業は現地測量が終了、来春に工事を着工し、平成30年に発電を開始する予定をしております。今年度中に地元説明会を開催いたします。

と農業研修をしている隊員と森林組合に専従している隊員がおります。

最近イノシシ・サルの被害が多くなっているが、具体的な対策はあるのか。

サルは大量捕獲の術がありますが、イノシシについて本町は後進地域です。丸森町などの、先進地を参考に検討していきます。

電気柵の設置には労力があるが、おじろ用心棒は安くて設置が簡単であるがどうなのか。

町では、電気柵の一種、「おじろ用心棒」の研究を行っており、導入について今後対応していきます。



湯原地区の様子